

JEITA規格オープンフォーラム

- ED-5008 半導体EMC性能等価性評価法(案) -

主催・企画：一般社団法人 電子情報技術産業協会 集積回路製品技術委員会

半導体メーカーの再編、構造改革による半導体製造ラインの移転等により同一半導体製品を供給し続けることが難しくなっています。機器製品によっては半導体製品を変更する場合、EMC性能試験を再度求められる場合がありますが、EMC試験は電波暗室で長時間試験する必要があり、試験費用も高額になるために代替半導体への切替えは円滑に進まない現状があります。このため、代替品のEMC性能が等価であるという評価結果を示すことで、機器の試験項目を削減することができれば、半導体メーカー、機器メーカーの両業界における部品切換え負荷は大きく軽減できると考えています。半導体EMC性能等価性評価WGではこのような課題に対し、半導体製品のEMC性能等価性を確認する標準的な方法をJEITA規格として制定する予定でいます。

また同技術委員会の集積回路モデリングPGでは、EMCも含むシミュレーション・モデルの要件を定義するなどにより、流通課題を解決する為の枠組みを構築する活動を行っています。同モデル要件適合性の検証手法や、同モデルが正しく使用される為のガイドラインを検討中です。

本日は、本フォーラムではこれらの規格、ガイドラインの内容を説明させていただく機会を設け、広く意見を頂きたいと考えています。ご多用のことと存じますが、多くの皆様のご意見を賜りたくご参加の程、よろしくお願いいたします。

日時

2019年12月5日(木) 13:30~17:00

会場

大手センタービル 4F JEITA 416会議室

13:30~13:40	開会挨拶 集積回路製品技術委員会 委員長 土居 直史 (ルネサスエレクトロニクス(株))
13:40~15:40	ED-5008 半導体EMC性能等価性評価法 の説明 半導体EMC性能等価性評価WGリーダー 市川 浩司 (株)デンソー) ・本ドキュメント制定背景と狙い ・本ドキュメントの内容 ・適用事例紹介 ルネサスエレクトロニクス(株), 東芝デバイス&ストレージ(株) 新日本無線(株) ・オープンディスカッション、今後の計画
15:40~15:55	休憩
15:55~16:50	集積回路モデリングPG 活動紹介 集積回路モデリングPG主査 稲垣 亮介 (ローム(株))
16:50~17:00	閉会挨拶 半導体EMCサブコミティ 主査 富島 敦史 (東芝デバイス&ストレージ(株))